

すこやか 9 月号

第 193 号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA

特集
FEATURE

大腸がんの手術について



外科・消化器外科 部長
光辻 理顕

- ・日本外科学会指導医
- ・日本消化器病学会指導医
- ・日本消化器外科学会指導医
- ・日本消化器がん外科治療認定医
- ・消化器内視鏡学会専門医
- ・臨床腫瘍学会暫定指導医
- ・日本がん治療認定医機構専門医
- ・消化管学会暫定専門医・暫定指導医
- ・マンモグラフィ読影資格

大腸がんは、がんの三大療法である外科治療・化学療法・放射線治療を組み合わせる治療します。なかでも外科治療は最も重要で、がんを切除し根治を目指します。

大腸の壁は粘膜・粘膜下層・筋層に分かれています。がんは粘膜から発生しますが、どの層の深さまで達しているかで「転移」の可能性が変わります。がんが粘膜内にとどまっていれば転移の可能性はなく(図1)、内視鏡(大腸カメラ)切除で完全に治ります。しかし粘膜下層に達すると(図2)、近くの組織に転移の可能性がでてきます。内視鏡切除では不十分な場合があり、手術で周りの組織と一緒に切除する必要があります。手術しなければ治りませんが、完治できる可能性が非常に高いです。がんが筋層に達すると進行がんとなります(図3)。つまり肝臓や肺などの遠隔転移の可能性が数十%あり、手術後に再発をする可能性もあります。また、放置すると腸閉塞を起こし緊急手術を要する場合があります。

大腸がんが一番転移しやすいのは肝臓です。通常、がん

が肝臓に転移したら「手術できない」と判断されますが、大腸がんの場合は積極的に手術をした方が余命が延びることが分かっています。

最近広まりつつある腹腔鏡手術ですが、お腹に1~2cmの創を作り、そこから腹腔鏡を挿入してお腹の中を観察しながらマジックハンドのような器具(鉗子)を数本挿入して手術を行うものです。最近は大腸がんの標準的な方法となっており、当院でも大腸がん手術の7割以上の方に腹腔鏡手術を行っています。

大腸がんは、早期の段階では無症状であることが多く、便潜血検査などを受けないと見つかりません。できるだけ早期に発見するためにも、検診などは欠かさず受けるようにしましょう。

平成27年度 外科・消化器外科手術実績

手術	件数
胃がん	37(19)
大腸がん	52(38)
乳がん	42
胆石症	94(88)
ヘルニア	97(74)
虫垂炎	41(40)
その他	253(10)
合計	616(269)

※()は、腹腔鏡による手術



Topics

三田市民病院トピックス

臨床工学技士による 手術室での機器管理

臨床工学科 田中 敬士

臨床工学技士って何？

臨床工学技士の仕事は医師の指示の下に、生命維持管理装置を始めとする医療機器の操作及び保守点検を行うことであり、医療機器の専門職として働いています。臨床工学技士は、昨今の高度な医療技術の進歩に伴い、医療機器の高度化・複雑化が進む中で、これらを適切に管理し医療の安全を確保する役割を担っています。

手術室では

手術に使用する医療機器は、患者さんの状態や手術内容によって異なるため、手術室には多くの機器が設置されています。それらの機器を安全かつ適正に使用できるようにするため、また手術を円滑に進めるためには機器の保守管理は欠かせません。

今回は臨床工学技士が行っている手術室での機器管理業務についてご紹介します。

定期点検

麻酔器(写真1)や腹腔鏡手術に使用する電気メス(写真2、3)などの機器は定期的に点検を行います。例えば麻酔器では、麻酔ガスの微量な漏れがないかのチェック(写真4)や、酸素濃度を測定するセンサの調整、また停電時に対応するためにバッテリーチェックなどを毎月行います。自分達では点検ができない機器に関しては、メーカーに依頼し毎年点検を行うことで不具合を早期発見し、安全に使用できる環境を整えています。

故障時対応

手術中に機器のトラブルがあった場合には、

できるかぎり早く手術室にかけつけ応急対応をします。故障の有無を確認した後、機器の調整、部品交換、メーカー修理依頼などの対応を行っています。

将来の展望

手術中の医療機器の不具合ゼロを目標に点検の頻度や内容を改善し、トラブル時にはより迅速に対応できるよう努めていきたいと思えます。将来的には手術中に使用機器の管理や操作などを行うことで、手術室でのチーム医療に貢献していきたいと考えています。



写真1

麻酔器 ▶ 手術を受ける患者さんが、適切に麻酔薬や酸素を吸入できるようにします。



写真2

電気メス ▶ 人体に流した高周波電流によって生じる熱により切開や止血を行います。



写真3

電気メスの動作確認をしています。



写真4

麻酔器のガス漏れをチェックしています。

Report_1

ふれあい看護体験を開催しました

看護部 副部長 藤本 正子

8月3～5日に「ふれあい看護体験」を開催し、3日間で市内の高校3年生31名の参加がありました。

この「ふれあい看護体験」は、看護師・理学療法士などの医療職に進むことを視野に入れている生徒が、実際にその業務を現場で体験することで仕事への理解を深め、医療職へ進む気持ちを新たに、学習意欲を向上させることを目的として、毎年開催しています。

看護体験では、ペアでお互いの血圧を測定したり、呼吸音を聞いたりした後、患者さんの髪を洗ったり、シーツ交換を行うなど普段経験したことのないことに取り組んでいただきました。体験後の意見交換では、「看護師に対する印象がさらに良くなり、仕事はとて大変だけど看護師になりたいと強く思いました。夢に向かって頑張ります。」など、看護師に絶対になりたいという意見が多数聞かれました。

看護師不足が深刻な問題となっている中、看護職を目指すきっかけを提供することは市民病院の役割であると考えます。今後も看護師などの医療職の仕事を市民の皆さんに知っていただけるイベントを開催していきたいと思っています。



病室で、ベッドメイキングをしています。しわができないようにベッドメイキングするのは大変です。



患者さんの足を洗っているところです。



心電図モニター体験をしました。

Report_2

マタニティヨガ講座を開催しました

マタニティヨガは、心身のリラックスや妊娠中の不快な症状を和らげることが期待でき、妊娠・出産期を安定して過ごすために効果的です。7月22日(金)10時から、初めての試みとしてマタニティヨガの講座を実施し、7名の妊婦さんが参加しました。

健康チェックと講師からの説明後、実際のポーズに取り組みます。開脚のポーズなどで体の柔軟性を高め、立位や仰向けでのポーズなどの後、左右の鼻で交互に行う呼吸法にも挑戦しました。ヨガへの集中が高まると共に、母親と参加した子どもさんも一緒にポーズをとる微笑ましい光景も見られました。

1時間強の講座を終えた後は、温かいお茶を飲みながら、寛ぎました。参加者からは、「呼吸を意識することで気持ちを整えることができた。出産後も続けたい。」「体が伸びリラックスできた。また開催して欲しい。」などの感想が寄せられました。

当院では、今後も妊娠・出産期をより安心・安全に過ごしていただけるように取り組んでいきます。



鼻から吸い、吐くヨガの呼吸に慣れていきます。



立位での合掌。猫背になりがちな体を伸ばします。

Close UP

認定看護師資格の取得について



中央手術室
平島 教子

今年7月に手術看護認定看護師の資格を取得しました。

手術看護とは手術を受ける患者さんが安全で安心な手術が受けられるように医療チームの一員として情報を共有し、専門性のある知識と技術を提供することです。手術に際してさまざまな不安をもつ患者さん、ご家族の支援・ケアは、術前～術中～術後にわたり、外来や病棟と連携して行う必要があります。それを担う専門家が手術看護認定看護師です。

この資格取得を目指したのは、手術前の患者さんから手術室に認定看護師が所属していると安心するとの話を聞き、高い専門性をもつ認定看護師の存在が患者さんの安全、安心につながると確信したからです。今後は、より安全で安心な入院生活を過ごしていただけるように、患者さん、ご家族の目線に合わせた手術看護を目指していきます。

認定看護師とは…日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野で熟練した技術と知識を持つことが認められた看護師のこと。現在21の看護分野が定められています。(日本看護協会ホームページより)

医師からのメッセージ

日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。



あべ まさと
安部 真人
■診療科_研修医



message

4月より初期研修医としてお世話になっております安部と申します。大学時代は関西を離れていたため、久しぶりの関西弁に囲まれた生活を心地よく感じながら過ごしています。皆様の健康を守るお手伝いができるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひします。



いとう たつろう
伊藤 達郎
■診療科_循環器内科
■専門分野_循環器画像診断
■資格_日本内科学会認定内科医

message

もともとは九州の福岡出身ですが、大学卒業とともに関西の地で勤務しております。神鋼記念病院、神戸大学病院で勤務したのち、今年4月より三田市民病院で診療を行っております。病気のことに関してわかりやすい説明を心がけております。

薬の飲み方について

薬剤科(診療技術部次長)
櫻井 美由紀

薬は、胃や腸から体内に吸収されて効果を現します。食前は食事の20～30分前、食後は食事が終わって20～30分後、食間は食事と食事の間で食後2時間くらいです。胃が空の時に飲んだ方が効果的、胃への刺激を少なくするためなど、薬の性質に合わせて飲む時間が決められています。また、薬は、コップ1杯くらいの水またはぬるま湯で飲んだ時に、水に溶けて吸収され効果を発揮するように作られています。水なしで飲むと、溶けにくくて吸収が遅れたり、のどに貼りついて粘膜を傷めることがあります。コーラ、ジュース、牛乳など水以外のもので薬を飲むと、薬の成分が飲み物の成分と作用しあって、吸収が悪くなったり、逆に吸収が良くなりすぎて、予期しないトラブルが起きることがあります。

わからないことや不安なことがある、朝ごはんは食べないのに朝食後の薬が出たなどの時は、自己判断で飲み方を変えたりせずに、医師・薬剤師に相談しましょう。また、お薬手帳があると、薬の内容がすぐわかり、お薬の重なりや飲み合わせの確認もできます。受診時は必ずお持ちください。

ポイント

- 飲むタイミングに注意しましょう。
- 水またはぬるま湯と一緒に飲みましょう。
- 分からないことは医師・薬剤師に相談しましょう。

持っていて安心!!
お薬手帳



受診時は必ずお持ちください

三田市民病院

近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう!



とくやまクリニック 〈徳山 彰俊 院長〉

今年の4月で、とくやまクリニックが開院して21年になりました。開院当初より、乳幼児からお年寄りまで、何でも相談でき、優しい医療を提供できるクリニックを目指して邁進してまいりました。

至らない点もあったと思いますが、患者さんや、周りの方々に支えられながらここまでこれたことを、感謝しております。

現在は小児科(予防接種等)、外科(手術、処置)、乳癌検診、超音波、胃カメラ(経鼻)、美容外科、レーザー処置(シミ、アザ、ホクロ、ニキビ、ニキビ跡等)、成人病検診(動脈硬化等)など、幅広く対応しています。

また、精神的、身体的な悩みや、子育ての不安、生活習慣の改善法など、何科を受診したらいいのかわからない時でも、お気軽にご相談ください。親身になって対応させていただきます。

今後ともより良い医療を提供できるように頑張っておりますので、よろしくお願いいたします。



〒669-1546 三田市弥生が丘2丁目13-4
 電話 079-562-0002
 HP: <http://www.tokuyama-clinic.com/>
 診察科目: 外科、小児科、肛門科、胃腸科
 休診日: 日曜・祝日、金曜日・土曜日の午後

診察時間: 午前 9 時 ~ 12 時 / 午後 4 時 ~ 7 時						
	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	×	×

サンヒルズクリニック 〈小林 昇 院長〉

平成 27 年に横山町に、サービス付き高齢者向け住宅サンヒルズ八景 1 番館に併設するクリニックという形で開業致しました。施設入居者ばかりでなく地域住民の皆様への医療サービスを行っております。特に、通院困難な方へは訪問診療・往診という形での対応も行っています。

専門は、心臓・血管等の内科ですが、頭の方からつま先まで「人を診る」との方針で診療を行っています。健康管理、治療、予防のためのリハビリテーション指導も行っています。市民病院という地域中核病院の先生方が十分な診療を行えるように、問診、診察からの情報取得、可能な範囲での初期治療など微力ながら協力したいと日々努力しております。

患者様におかれましては、初回受診時はお話を伺うために時間がかかります。あらかじめ下記連絡先にお問い合わせの上、受診して頂けると幸いです。また、急に出現した症状にも対応しています。お気軽に連絡してください。



〒669-1534 三田市横山町17番地13号
 電話 079-563-8300
 HP: <http://sunhills-clinic.or.jp/>
 (facebookもあります)
 診察科目: 内科、循環器内科、リハビリテーション科
 休診日: 日曜・祝日、土曜日の午後

診察時間: 午前 9 時 ~ 12 時 / 午後 2 時 ~ 6 時						
	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	△	○	△	○	△	×

△のところで診察を希望される場合は事前にお電話ください

編集後記

残暑は厳しいものの、蝸の声が涼しげな秋の夕暮を感じさせる季節となりました。今年の中秋の名月は9月15日。旧暦8月15日の月をこう呼ぶため今年満月ではないのですが、秋の澄んだ空気と美しい月明かりを楽しみたいものです。

すこやか(第193号)
 平成28年9月発行

【編集・発行】
 三田市民病院
 学術広報推進委員会

 **三田市民病院**

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
 TEL.079-565-8000 (代表)
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>